

2021 年度ゼミ (4001 演習 3A/4002 演習 3B) 要覧

担当者名	張艶
演習テーマ	卒業研究
内容 と 卒業論文の 指導方針	学生が主体的に設定した課題について、知識の習得、研究計画の策定、資料収集、課題解決に至る迄の研究を指導します。学生の主体性を尊重し、学生自らが課題に取り組む姿勢を養うとともに、分析・判断・洞察による課題解決能力を養成します。
メール・アドレス	ellie@k.meijigakuin.ac.jp
オフィス・アワー	木曜日昼休み
授業概要	卒業論文の作成を通して、これまでに得た成果を整理・深化させるとともに、自ら課題を設定し、それに向けて取り組み、解決する力を身につけます。一年を通じて卒論の作成・報告・個別指導・修正などを経て、満足のいく完成論文に仕上げることが目指します。
学習目標	卒業論文の作成に向けて、これまでに得た成果を整理・体系化するとともに、必要な知識や手法について識見を高めることを目標とします。
授業計画	3A・春学期 【第1回】～【第7回】参考文献と資料の収集、卒論テーマの設定、報告の準備、質疑応答 【第8回】～【第14回】卒論の作成と報告、教員の指導 【第15回】まとめ 3B・秋学期 【第1回】～【第6回】卒論の作成と報告、教員の指導 【第7回】～【第14回】卒論の修正と完成 【第15回】まとめ
予習	卒論の作成
復習	指摘された点を参考にして、卒論を修正します。
授業に関する 注意事項	より良いものをコツコツと最後まで粘り強く書く姿勢は大切です。
教科書	使用しません。
参考書	適宜指示します。 ・斉藤孝・西岡達裕『学術論文の技法』日本エディタースクール出版部、2005年 ・戸田山和久『新版 論文の教室ーレポートから卒論まで』NHK出版、2012年 ・明治学院大学教養教育センター『アカデミック・リテラシー・ハンドブック』 ・滝川好夫『学生・院生のためのレポート・論文の作成マニュアル』税務経理協会、2011年 ・滝川好夫『卒業論文・修士論文作成の要点整理 実践マニュアル』税務経

	理協会、2014 年
成績評価の 基準	成績評価は平常点(40%目安)と完成論文(60%目安)の割合で行います。
関連 URL	
備考	